

現場での品質管理

～個有技術から会社共通の固有技術へ～

■本セミナーの特長

品質管理とは、消費者が十分満足することの出来る品質の製品を最も経済的な水準で製造、販売する組織的な活動です。品質に重点を置いた経営管理であり、品質第一主義が長い目で見て生産性を上げ大きなコストダウンを生み利益をもたらすことになります。

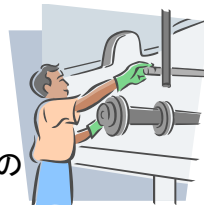
商品やサービスの質の向上を果たすには、仕事のやり方、進め方を変える必要があります。標準化をすることではなく、標準化の進め方を「QC的な進め方」にすることにより企業の意識改革と体質改善ができます。

■こんな企業、こんな方におすすめ

- 不良が出たり出なかったりと
品質にばらつきがある
- 個人技術が多くあり、他の人では作業できない
- QCってTQCって何？
- チームを動かす、実行力を持つリーダーがほしい

■本セミナーで学んで頂くこと

- 品質って何？
- 管理って何？
- 品質管理って何？
- 現場の品質管理って何をするの

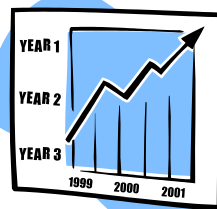


概 要

- 日程: 2016年2月12日(金)
 ■時間: 10時～17時
 ■会場: 倉吉未来中心(セナールーム1)
 倉吉市駄経寺町212-5
 ■定員: 15名(先着順)
 ※定員を超える場合、同一企業人数は調整させていただく場合があります。
 ■受講料 1,000円(一人当たり、テキスト代含む)
 《お申込み手続き》
 ①受講者: うら面の受講申込書に記入し、下記連絡先にファクシミリで申し込んでください。
 ②事務局: 受講通知を受講者様宛に、申込書に記載のメールアドレスへ送信します。
 ③受講料: セミナー当日持参してください。
 《キャンセルについて》
 受講料受領後に、受講者様のご都合により、受講途中でご出席出来なくなった場合は、お支払いいただいた受講料の返金は致しかねますので予めご了承下さい。
 ■講習時に用意いただくもの
 筆記用具・電卓
 ■主催: 鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会
 《連絡先》鳥取県戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会中部支部
 (鳥取県立産業人材育成センター内)
 電話: 0858-27-5333 ファクシミリ: 0858-27-5334
 電子メール: sangyoujinzai-center@pref.tottori.jp

プログラム

1. 品質管理の歴史
 - ・品質についての考え方
2. QC(品質)とは
 - ・QCを意識した仕事の進め方
3. QCは事実(ホンネ)から
 - ・データに基づく管理
4. TQC, TQMとは
 - ・品質管理における総合的な考え方
5. 統計的な考え方
 - ・問題解決と統計的な見方
6. QC7つ道具の活用
 - ・パレート図、特性要因図 等
7. 管理のためのグラフ
 - ・単なるグラフは使えない
8. 品質保証とは
 - ・品質保証の役割



講師プロフィール

【渡邊 一衛(わたなべ いちえ)】

成蹊大学 名誉教授

【略歴】

1950年生まれ 横浜出身 慶應義塾大学工学部管理工学科卒、大学院工学研究科管理工学専攻修了、1986年工学博士(慶應義塾大学) 1984年成蹊大学工学部経営工学科助手、その後専任講師、助教授を経て1994年教授となり現在に至る。2001年経営・情報工学科、2005年理工学部情報科学科へ組織変更。専門は生産管理、モノづくりやサービスづくり、ロジスティクスを中心にシステムの効率化の指導と講義を行う。日本経営工学会、設備管理学会、日本IE協会、日本ロジスティクスシステム協会、日本科学技術連盟などに所属。

【著書】

中村昌弘・渡邊一衛「グローバル生産の究極形」日経BP
 渡邊一衛・武岡一成監修 ビジネスキャリア生産管理標準テキスト 全6冊 中央職業能力開発協会
 日本経営工学会編(共同執筆)「生産管理用語事典」日本規格協会など

